



発行日/2025年2月25日

編集・発行/堺市立健康福祉プラザ

視覚・聴覚障害者センター

聴覚障害者情報提供施設

〒590-0808 堺区旭ヶ丘中町4-3-1

Tel:072-275-5024 Fax:072-243-2222

Mail:mimi@sakai-kfp.info

みみより

77

ごあいさつ

坪井 順子

夏の暑さを忘れてしまうような寒い日が続いていますが、いかがお過ごしでしょうか。

年明け、注目していたニュースが2件ありました。ひとつは2018年に聴覚に障害のある児童が交通事故で亡くなり、損害賠償を全労働者の平均賃金の85%とした、いわゆる「逸失利益(いっしつりえき)裁判」です。2審では「健常者と同じ職場で同等に働くことが十分可能であった」とし、「全労働者の平均賃金から減額せず、健常者と同じ基準で算定すべき」と判断し、損害賠償は健常者と同額であると認めました。



もうひとつは、「旧優生保護法に基づく優生手術等を受けた者等に対する補償金の支給に関する法律」の施行です。旧優生保護法に基づいて、優生手術や避妊中絶などの被害者に対して、国が非を認めた裁判後に施行されました。被害者を取り巻く先人のみなさんや聴覚障害に関わる人々の努力の賜物だと嬉しい気持ちになりました。

インフルエンザやコロナなどの感染症が、相変わらず猛威をふるっています。春が来るまでもう少し、しっかり食べてしっかり睡眠をとり健康にお過ごしくださいね。

開催事業報告



《みみサロン》



1/18(土)、まだまだ数の少ない「聴覚障害の薬剤師」、高木 優(たかき すぐる)氏をお招きしました。薬剤師はとても難しいイメージの国家資格ですが、初めに勉強時間や使用テキストなどの紹介がありました。講演では、お薬の種類や効果の表れ方、正しい薬の飲み方等をお話いただきました。みなさんは食前、食後などに飲む方法も「当たり前のことだから理解できているよ」や「簡単だよ」と思っていないですか？ 案外、間違いも多く、クイズを通して具体的に解説してくださいました。例えば、つい、お茶で薬を飲むことや、他の飲み物を飲む「ついで」に薬を飲むことがありますよね。なぜ、ダメなのか？ その理由がペットボトルを使用した実験ではっきりと見て理解でき、歓声があがりました。



↑ 薬と緑茶を混ぜると茶色に濁りました！

ほかにも、「お薬の種類によって直前の食べ物・飲み物にも『OK/NG』があるので、わからないことや疑問点があるときは、遠慮せずに質問し、きちんと理解し、正しく服用しましょう」というお話もありました。複数の病院から処方された薬の一包化や、お薬手帳についても薬局に相談することも大切とのこと。忙しそうな薬剤師さんを見ていると質問していいものか…と遠慮していますよね。でも、飲酒をする・喫煙をする・生活習慣・アレルギー等の特性は個人によって違うので、しっかり理解した上で正しく薬を服用しましょう。意味を掴んだ丁寧な手話表現で「わかりやすい」と好評でした。薬剤師のお仕事に就きながら、ご自身は薬を飲むのはあまり好きではないとおっしゃっておられたのも印象的でした。高木さん、ありがとうございました！

【参加者の声】

- ・とてもわかりやすくなんとなく覚えていることが間違っていることがあり学びました。
- ・ペットボトルの実験など初めてみたので勉強になりました。
- ・身近な薬の話が聞けてよかったです。 ・薬の知識をいろいろ得られました。
- ・自分が毎日服薬しているので今日のお話はとても勉強になりました。
- ・お薬の飲み方についてよくわかりました(食前、食後どれくらいの時間で飲んでいいか)。

《もじサロン（筆談会・わいわいおしゃべり会）》



1月の筆談会は3名の参加者でした。年明け1回目なので年末年始の過ごし方や、体調などについて筆談でおしゃべりしました。お正月と言えばお雑煮。白みそやお澄ましなど、1月1日と2日で味を変えて作った方も。のんびり過ごされた方が多かったようです。親知らずがなかなか抜けず大変な思いをされたとお話された方もおられ、聞いているだけでも辛くなりました。しばらくは食欲もなくなったようで、1本の歯の影響力は侮れませんね。インフルエンザが猛威を振るっていますが、参加者の皆さんはかかっていないということで安心しました。

毎回、おしゃべりが弾み、情報交換もしています。初めての方も、どうぞ遠慮なくご参加ください。

《保護者学習会》

1月25日(土)に京都市聴覚言語障害センターの相談員、若狭 妙子(わかさ たえこ)さんを講師にお迎えして開催しました。今回のテーマは『「わかる」が育てるこどものころ』。最初に、臨床心理士であり、難聴当事者でもある若狭さんから、ご自身の体験も織り交ぜながら軽・中等度難聴児の困難のわかりにくさの紹介がありました。周囲のおとなの配慮として、「聞こえなかったら聞き返してね」と伝えることがありますが、そもそも聞こえていない場合、こどもから「聞こえなかった」と発信するのはとても難しいものです。おとなになると文脈から判断したり、視覚的な情報提示があれば比較したりして、聞き落としがあることに気づくことができますが、こどものころの若狭さんは、「自分を置いて世界が変わっていく」と感じたり、「自分はダメ、理解が弱い」と思ったりしていたそうです。補聴器や人工内耳で「聞こえる」と思われがちですが、実際には個人差も大きく、環境にも大きな影響を受ける中、周囲の反応を見て、一生懸命集中して聞き取って、その結果、自分を責めてしまうこどもたちの姿がお話の中から見えました。



若狭さんは、大学でノートテイクや手話に出会い、「100%わかる」体験の大切さに気づきます。「100%わかる」環境があってこそ、情報が足らない場面があることに気づき、聞こえないために理解できなかったのか、自分の力量の課題で理解できなかったのか「わかる」。そして、「わかる」ためにはどう工夫すればいいのかを考えることができる、というお話が印象的でした。

いろいろなコミュニケーション方法がある中で、どれを選択するかは本人が決めること。ただ、聞こえにくい耳を使っただけのコミュニケーションでは、対話(ことばのキャッチボール)は難しいもの。選択のためには、いくつかのカードが必要です。こどもたちが手話、筆談、アプリなど、いろいろな方法に出会えるよう、環境を整えてあげたいものですね。

保護者学習会の間、きこえない・きこえにくいこどもときょうだいたちの交流会を開催しています。ここでは手話ができるスタッフが、視覚情報をたくさん使ってあそびの場を提供してくれています。今回は8名のこどもたちが参加し、絵本やゲームで盛り上がりました。こどもたちが安心できる居場所のひとつとして、ご活用いただければと思います。



NET119 システム変更手続きを!

119

119

きこえない・きこえにくい方や、発語に障害のある方を対象とした NET119。登録している方も多いと思いますが、現在のアプリを変更する必要があります。すでに登録している方には堺市消防局から案内をお送りしていますので、変更手続きをお願いします。ご自身で手続きが難しい方、また、新たに登録したい方や登録後に機種変更された方は、下記までご相談ください。

堺市消防局 警防部 通信指令課

〒590-0976 堺市堺区大浜南町3丁2番5号

FAX : 072-223-6938 TEL : 072-238-6053

メール : shotsu@city.sakai.lg.jp

(このメールが受信できるように設定してください。)

こちらからでも →
メールが送れます。
(iPhone の方は、
1文字以上要入力)



@sakaijoutei

聴覚の「インスタ」始めました

視覚・聴覚障害者センター(聴覚)のインスタグラムを開設しました。毎週、水曜日に行事予定などを配信する予定です。右の二次元コードをスマートフォン等で読み込んでいただくか、画面上でタップしていただいてもリンクにつながります。LINE と併せてご活用ください。



電話の声が文字になる「ヨメテル」開始

2025年1月から、通話相手の声が文字になるサービス「ヨメテル」が始まりました。ヨメテルは、自分は声で話し、相手の声を最新のAI(自動音声認識)や文字入力オペレータが文字にしてくれるというサービスで、スマートフォン等の画面で相手の話を読みながら電話ができます。これまでも「電話リレーサービス」により文字を使った電話はできましたが、自分自身も文字を入力する必要があり、入力が苦手な方には使いにくいものでした。ヨメテルは、今まで通りに電話を使いながら、「相手の声が聞こえない」という困りごとを解消してくれます。身体障害者手帳が取れない方も利用できるもので、興味のある方は上記の二次元コードでご確認いただくか、当センター窓口にお声かけください。また、5月の「きこえのセミナー」でもヨメテルのご紹介を予定していますので、試してから利用したいという方は、ぜひ、ご参加ください。

ヨメテル公式
サイト↓



※「みみより 67号」でご紹介した「字幕電話サービス」は、「ヨメテル」の開始に伴い、2024年12月13日をもって終了しました。



手話奉仕員・通訳者養成講座

お疲れさまでした！

奉仕員・通訳者養成の各課程は、2月末で終了します。次年度も次の課程を受講し、手話通訳者をめざす意思を持ってイベントや行事にも積極的に参加してほしいです。市民向け手話講座も終了。奉仕員養成の受講者が増えることを期待しています。

要約筆記者養成講座

講座修了おめでとうございます！

1月11日に12名の受講者が修了されました。長期の受講お疲れさまでした。講師のみなさまも、ご指導ありがとうございました。全国統一要約筆記者試験も2月16日に実施。みなさんの合格を願っています！

センター(聴覚)の行事

※行事はすべて事前申込が必要です。

3月13日(木) 14:00~15:30

もじサロン(筆談会)

3月14日(金) 13:30~16:30

補聴器相談

3月15日(土) 14:00~16:00

みみサロン

講演「宇都宮黙霖のお話」

4月10日(木) 14:00~15:30

もじサロン(筆談会)

みなさまのご参加をお待ちしております。

4月19日(土)は「春のプラザまつり」です。聴覚障害者情報提供施設では、手話での絵本の読み聞かせのほか、手話体験・筆談体験・聴覚サポート機器の展示体験会等を開催しています。

ご都合のつく方は、ぜひ、いらしてくださいね！

センター(聴覚)の

公式LINE登録はこちら→

月2回程度、情報をお届けしています。

きこえる方はご遠慮ください。



ビデオライブラリーのおすすめ

「silent 3」

想と再会した絢を見守る湊斗は、高校時代から絢のことが好きでしたが、想も湊斗にとって大事な存在だったため、絢に対する気持ちを抑えていました。そんなとき、湊斗は絢を訪ねてきた想と再会します。

「きょうの健康 豊かな人生の処方せん

いざという時の家庭の医学 やけどの応急処置」

やけどは適切に処置しないと、治療に時間を要したり、大きな傷跡が残ったりすることがあるといわれています。では、どんな応急処置が定説なのでしょう？ 応急処置が早いほど治りが良くなるとも言われているので、すぐ対応できるよう、最新の処置方法を覚えましょう。

頑張っています 手話通訳・要約筆記者登録者

実施済

- ・手話通訳者・要約筆記者合同研修 1/16
- ・手話通訳者実践研修 2/25

・継続手話通訳者・要約筆記者説明会特別講演

3/22~3/29 YouTube 配信

「疲労回復のための心身の整え方」

※今年度もたくさんの方にご参加いただきました。ありがとうございました。今後もみなさんのふりかえりや研さんにつながる研修会を企画します！

事業状況

		手話通訳		要約筆記		ライブラリー	
		個人	講演	個人	講演	利用者数	貸出数
12月	派遣数	208件	15件	13件	13件	4人	24本
	派遣人数	212人	31人	21人	44人	新規登録者：0人	
1月	派遣数	182件	23件	11件	15件	4人	24本
	派遣人数	189人	57人	21人	38人	新規登録者：0人	

ご協力
ありがとうございました

